

■ 競技について

[競技参加資格]

- (1) 競技に参加する者は自己所有の犬と参加することとします。
(JC種目以外はこの限りではない)
- (3) 競技に参加する犬は法律に定められた予防接種を受けた犬に限ります。
- (3) 競技者は、愛犬家としてモラルとマナーをもち、スポーツの精神を尊重し、ルールを遵守できる方に限ります。
- (4) 参加者は主催者の免責とマスコミ等における大会取材・報道への同意の誓約を熟読し、合意のうえで「エントリー・フォーム(参加申込書)」に必要事項を本人が記入・署名のうえお申込みいただけます。Webエントリーは誓約欄にチェックして送信された時点で合意いただいたものとみなします。

[基本マナー&ルール]

(はじめに)

- (1) 競技者は自分の犬の安全と管理に全責任を負います。
- (2) 競技中以外、競技者は自分の犬を**移動する際、必ずリードなどで繋いで管理してください。**
特にコート近辺では、ケージ等に入れて管理し、競技に影響を及ぼさないように配慮してください。
- (3) 競技中、競技フィールド内には、競技者とパートナーの犬、オフィシャルのみが入ることが出来ます。一部の競技を除き、それ以外の人も犬もフィールドに入ることはできません。
- (4) 競技は、**定められたコート内で行なわなければなりません。また、コート外にいる人がコート内の犬やディスクに触れることは出来ません。**
違反があったとメインジャッジが認めた場合、失格となる場合があります。(それまで獲得したポイントは有効)
- (5) 呼戻しの利かない犬は、ロングリード着用が認められるクラスへの参加にご協力をお願いします。
特に JC 種目(S2含む)については、競技進行に30秒以上支障を来した際は注意喚起のうえ失格とする場合があります。
- (6) 愛犬の排便の後始末は参加者の責任において必ず行なってください。ディスタンス/アキュラシー競技に於いて、コート内・外に拘わらず競技中に排便があったとジャッジが判断した場合は、その時点でそのラウンドの競技は終了となります。(それまでに獲得したポイントは有効です。)
フリー演技においては、競技中に排便があった場合でもタイム計測は継続となります。大便の場合、その時点で競技者がクリンナップ処理しなければなりません。
- (7) ヒート中の犬は競技に参加できません。
また、競技に支障をきたすことがありますので、競技フィールド周辺への立ち入りもご遠慮ください。
- (8) ディスクドッグ競技会をご家族皆さんで楽しんでいただくスポーツ・エンターテイメントです。
従って、他の競技者やギャラリーとの争い、オフィシャルに対する抗議などは避けてください。汚い言葉や不適切な発言・表現、スポーツマン・シップに反する行為があった競技者は、結果的に競技を止めていただくことがあります。
- (9) コート近辺では、競技中のチーム(人・犬)の注意を逸らす原因となるような行為は慎んでください。

(使用ディスク等) (道具に関する制約)

- (1) すべての競技において「NDA オリジナル」ディスクを使用することとします。
「J ディスク」には5段階の硬さのディスクがありますが、5種類いずれを使用しても構いません。
- (2) JC 対象競技は競技DISC以外の持ち込みは禁止。(身に付けるものを除く) ショートリードも禁止します。
※チョークリードに関しては犬がリングなどに足を引っ掛けられない物は使用可能です。
※DISCを拭くタオルなどの着用は認めますが、その目的以外での使用は不可とします。
※リードについて、犬を帯同させる以外の目的、特に競技中の道具として使用することは不可とします。
持ち込みについて不明な場合はオフィシャルに予め確認をしてください。
- (3) フレッシュマンズクラス、チャレンジゲームはロングリードの使用を認めます。
- (4) 競技DISC にステッカーを貼る行為は禁止です。

(競技の中断及び再開)

競技チームが競技中に他の犬がフィールド内に乱入する等、競技の妨げになる状況が生じた場合は、メインジャッジの判断で時計を止め、その障害が解消され、安全が確認された時点で競技を再開します。
この時、時計を止めた時点からやり直すタイムの加減について、メインジャッジがサブジャッジ・ラインジャッジと協議のうえ決定します。

その条件での再開か、そのラウンドを最初からやり直すかは原則的にプレーヤーに選択権を与えます。
また、ジャッジが気づかない競技の妨げをプレーヤーが差し示すことは認めますが、競技を中断する判断や犬のコンディションに配慮して競技順の繰り下げを認める等、競技再開の諸条件はメインジャッジの裁量に委ねます。

ただし、**サバイバル種目は競技順も含め戦略に影響が及ぶため、順番繰り下げは認めません。**

また、メインジャッジは、当該大会の運営本部の意見を参考にすることができます。